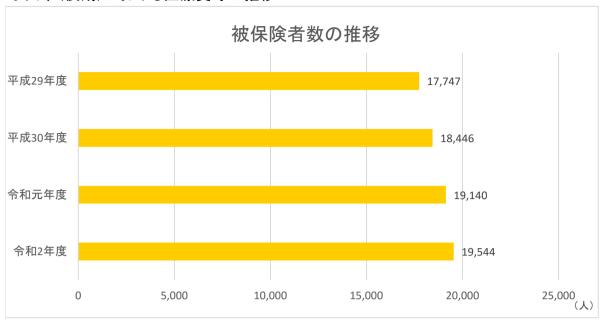
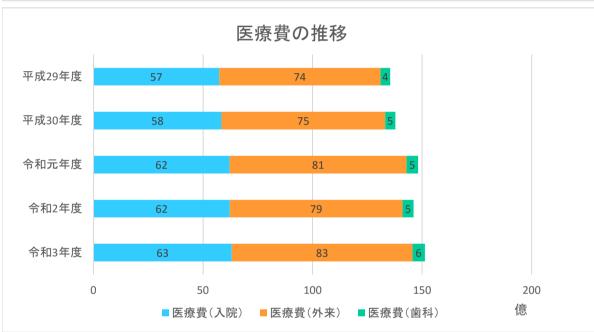
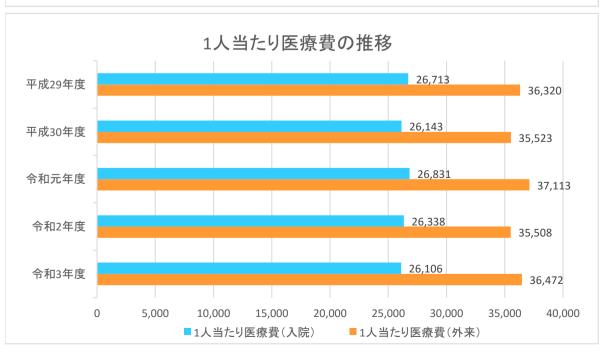
小山市(後期)における医療費等の推移







小山市の医療費の特徴(医療費の標準化比が高い疾病分類)【後期高齢者医療】

①大分類(主要なもの)

尿路性器系の疾患(外来・男性)の標準化比140.3は、全国と比べて高い。 尿路性器系の疾患(外来・女性)の標準化比117.8は、全国と比べて高い。 眼及び付属器の疾患(入院・男性)の標準化比114.1は、全国と比べて高い。

②中分類(がん)

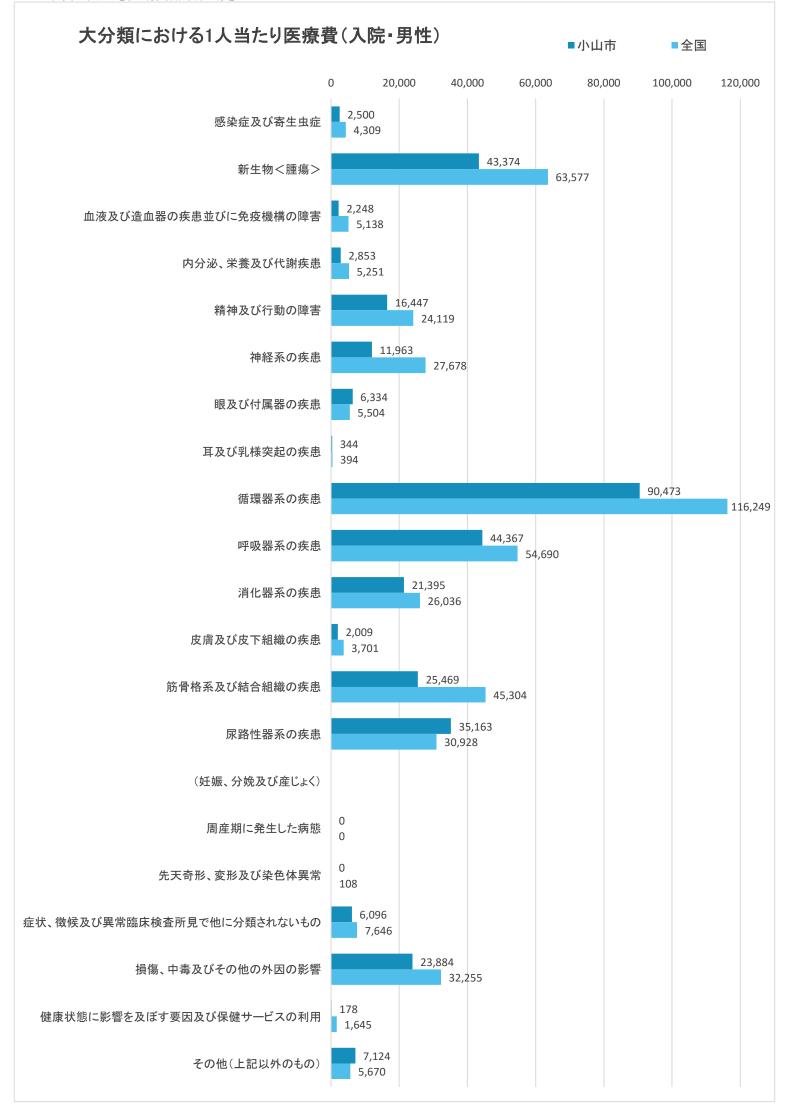
肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>(外来・男性)の標準化比186.2は、全国と比べて高い。 子宮の悪性新生物<腫瘍>(入院・女性)の標準化比145.6は、全国と比べて高い。 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>(外来・男性)の標準化比122.9は、全国と比べて高い。

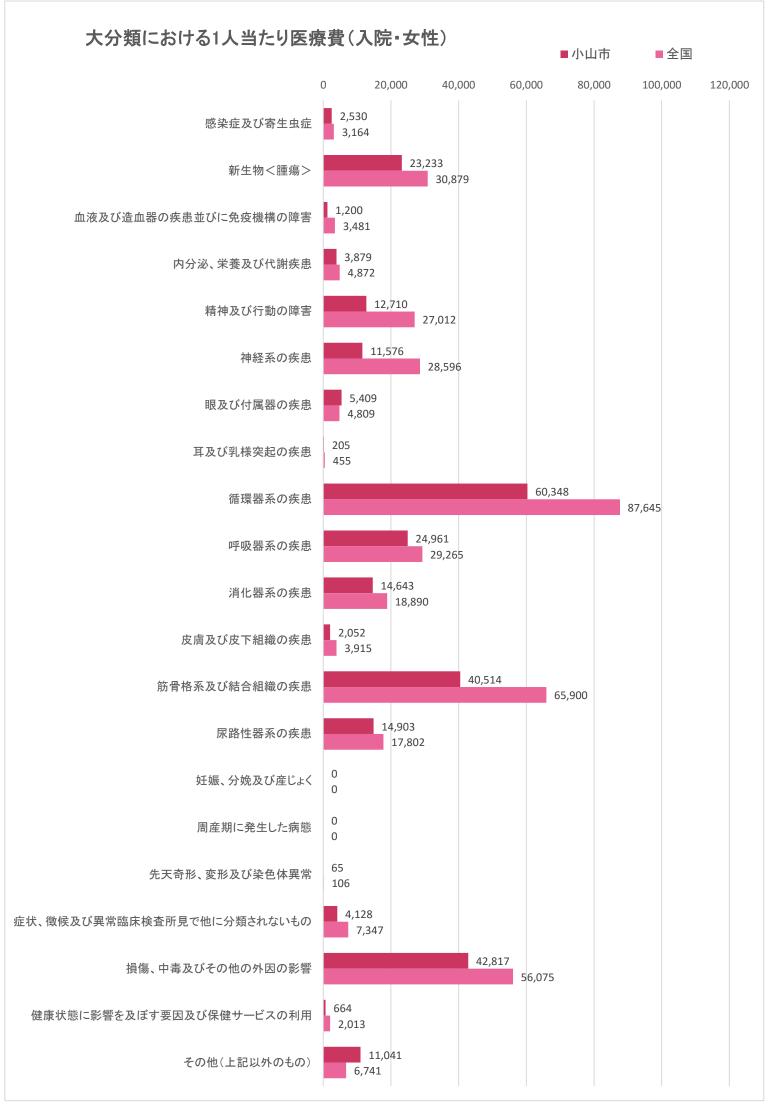
③生活習慣病

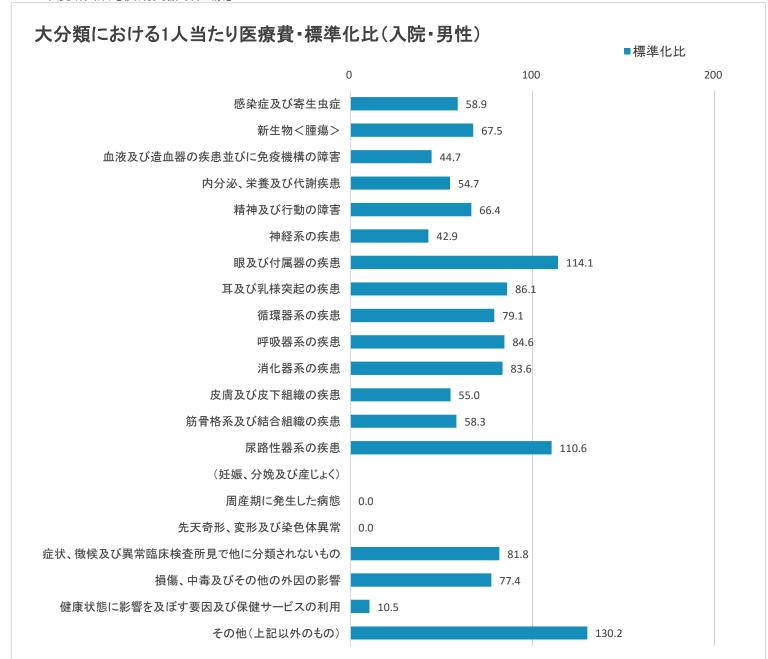
脂質異常症(入院・男性)の標準化比147.4は、全国と比べて高い。 脂質異常症(入院・女性)の標準化比137.1は、全国と比べて高い。 心筋梗塞(外来・男性)の標準化比122.8は、全国と比べて高い。

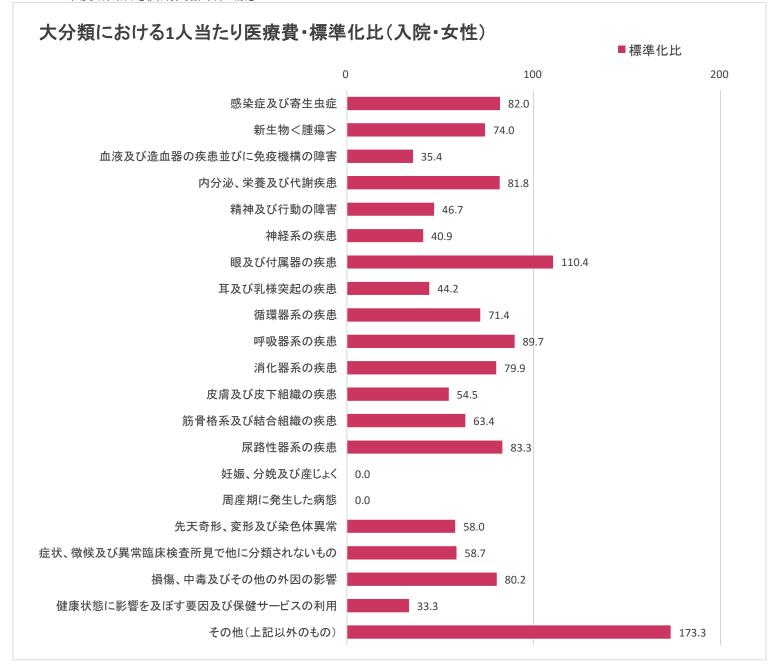
④慢性腎臓病(诱析あり・75歳以上)、糖尿病網膜症

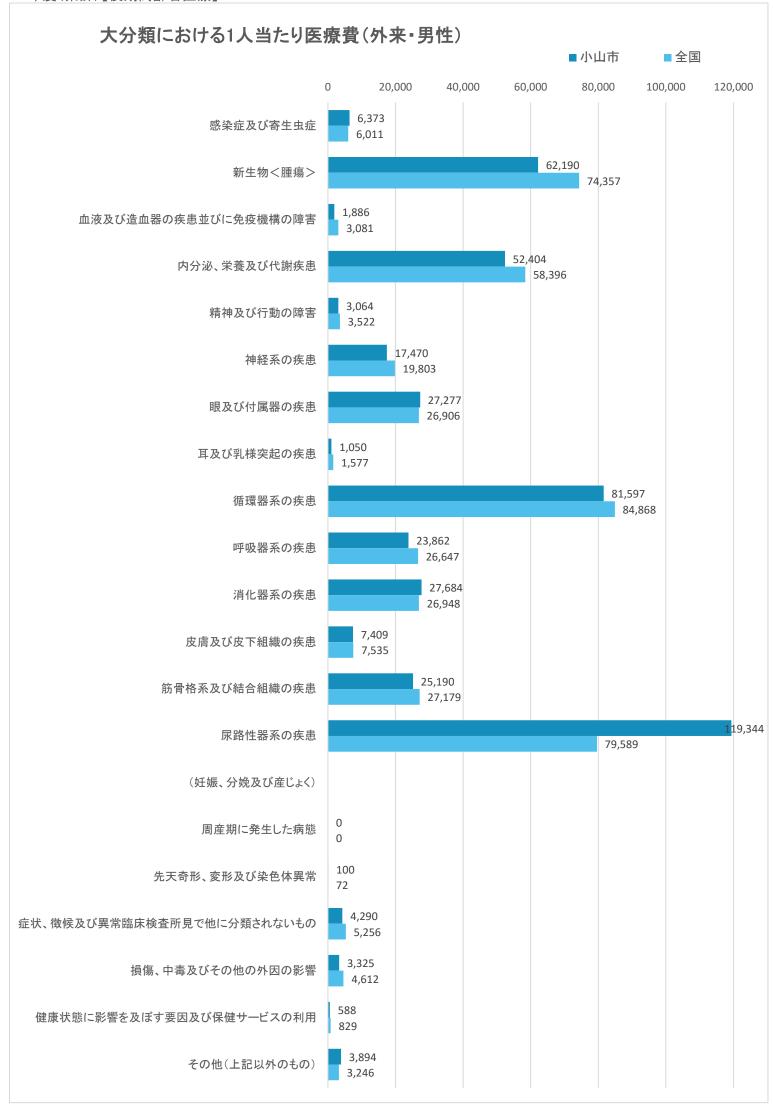
糖尿病網膜症(入院・男性)の標準化比267.8は、全国と比べて高い。 糖尿病網膜症(外来・男性)の標準化比159.1は、全国と比べて高い。 糖尿病網膜症(外来・女性)の標準化比146.8は、全国と比べて高い。



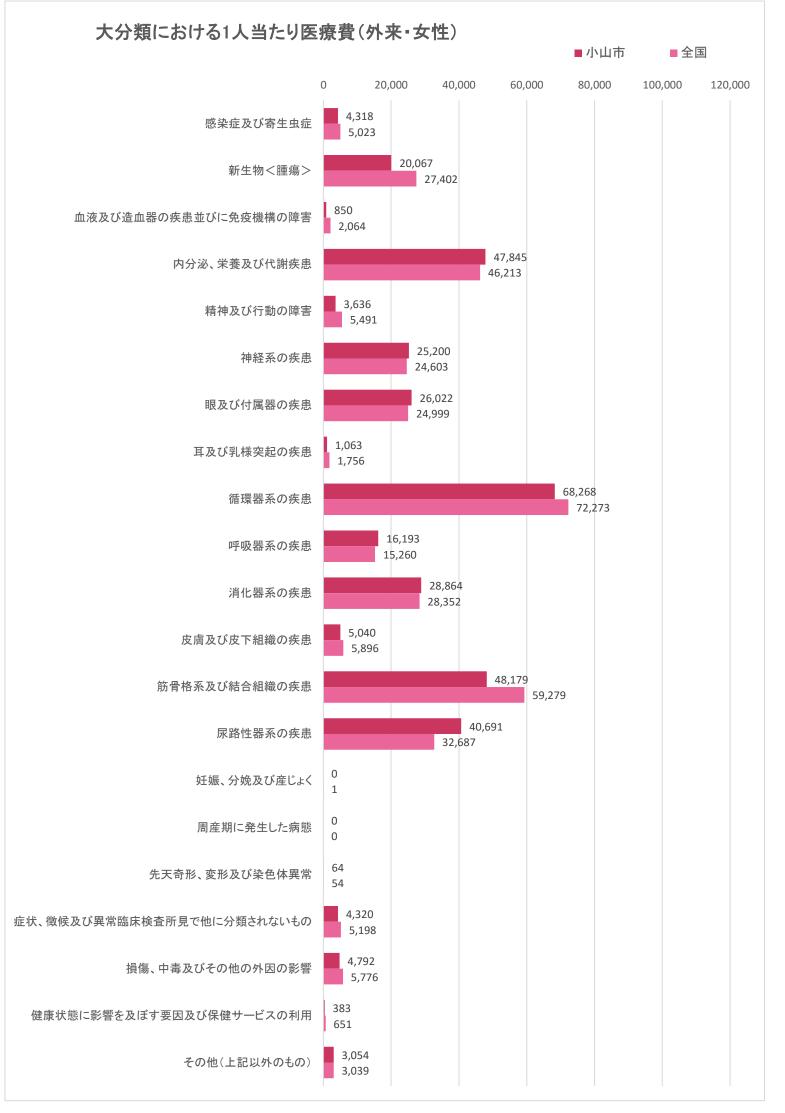


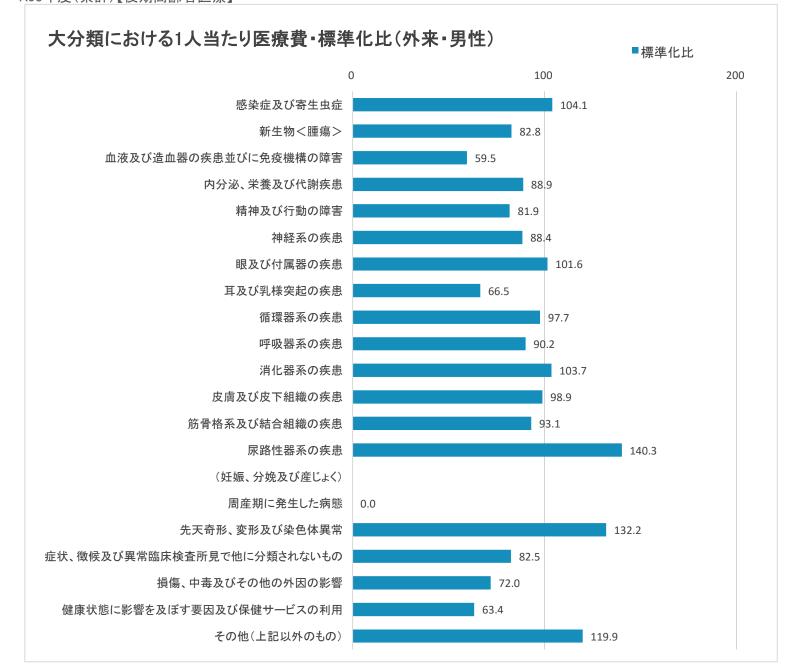


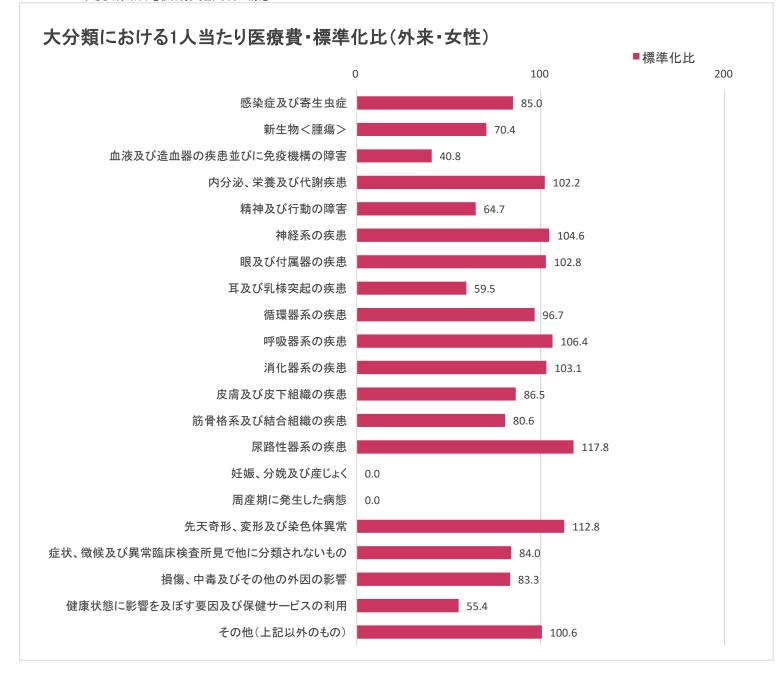




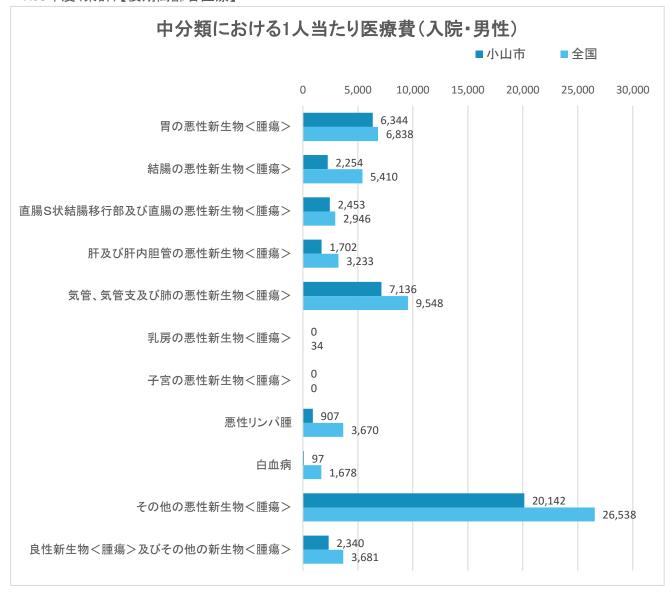




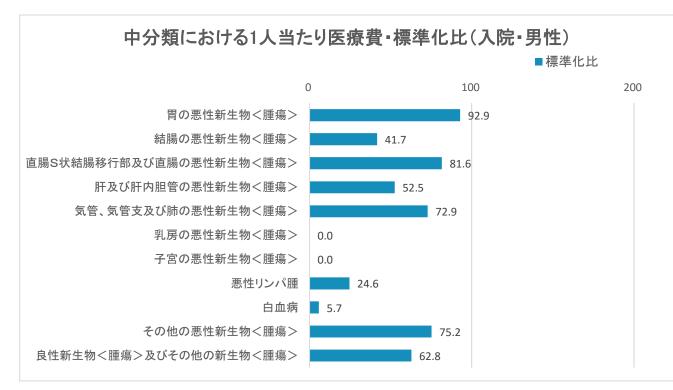


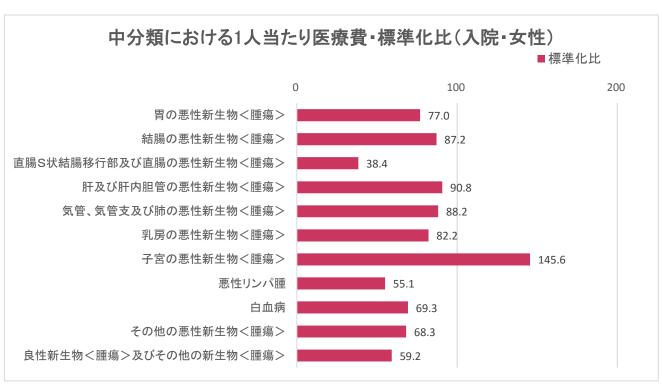


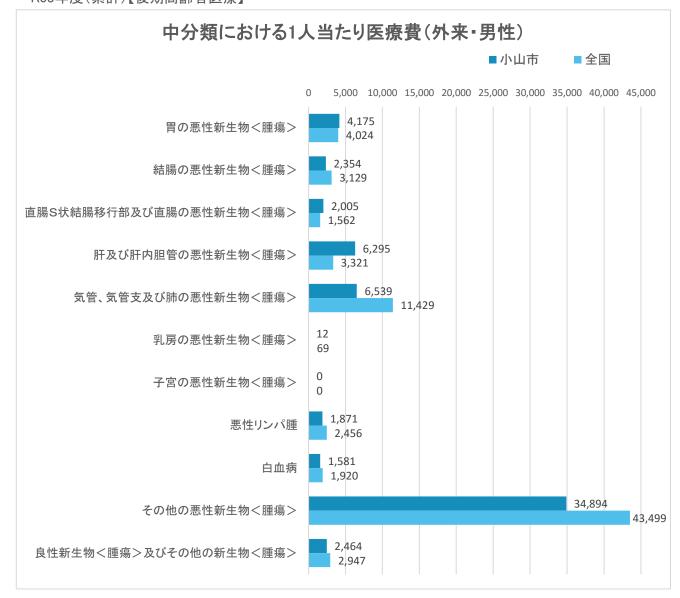


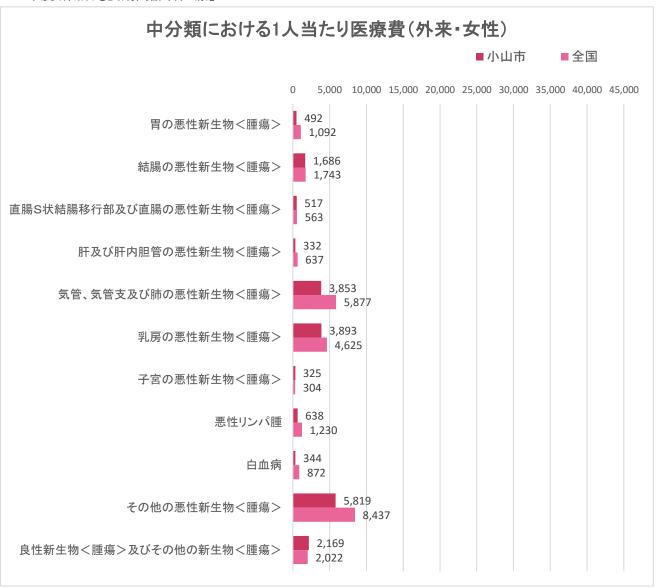


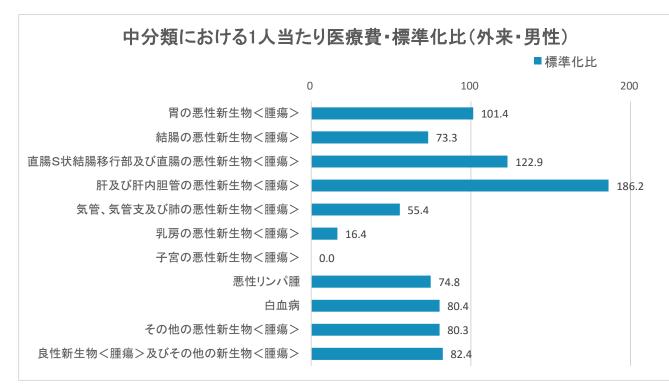


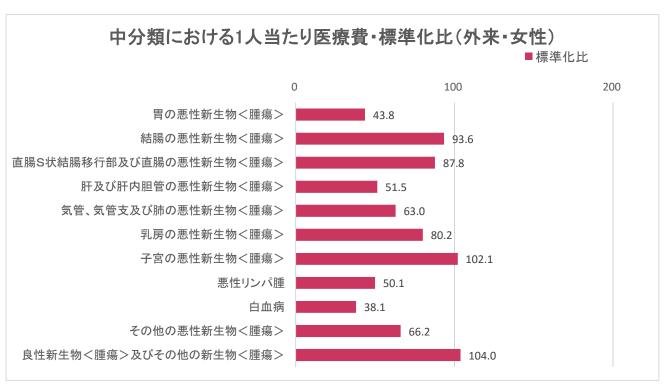




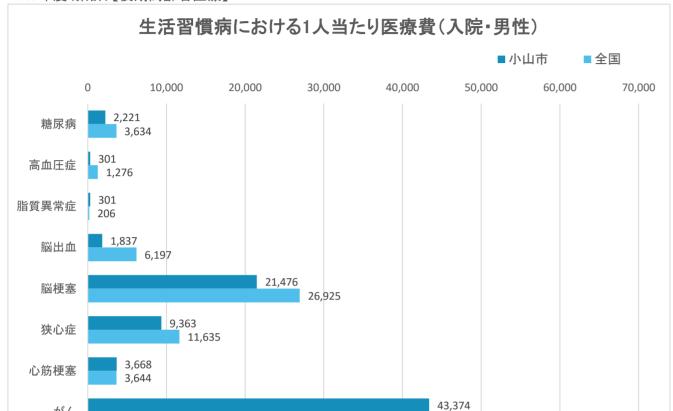






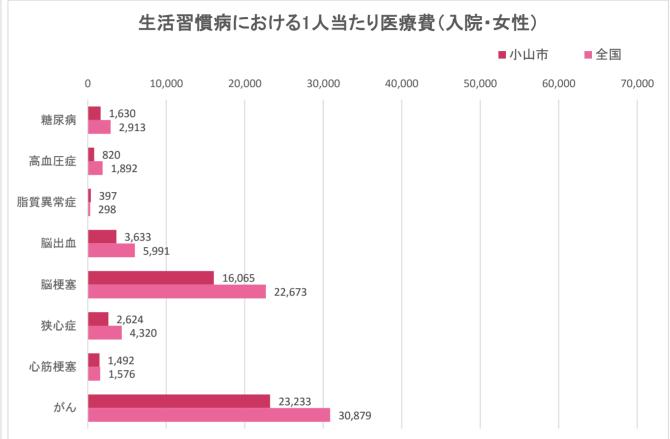


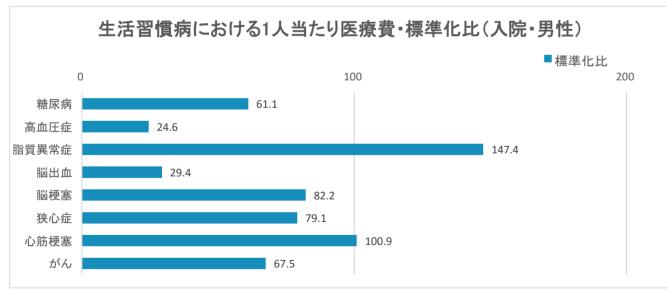
がん

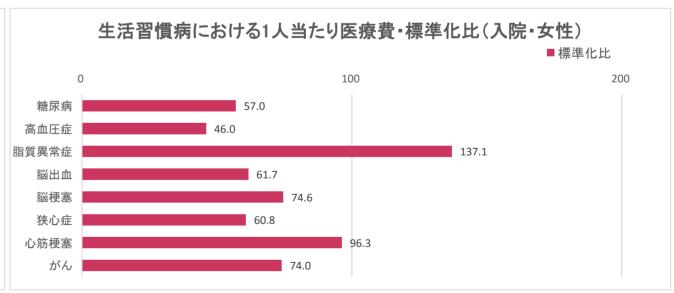


R03年度(累計)【後期高齢者医療】

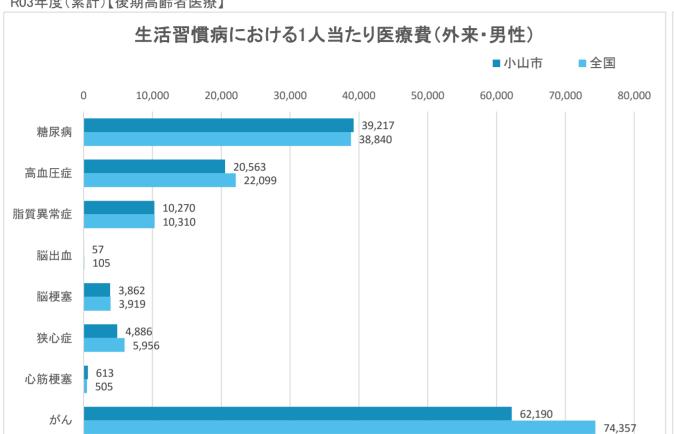
63,577



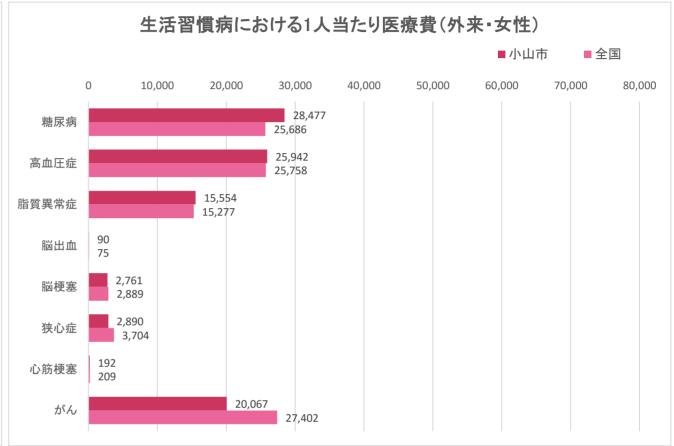


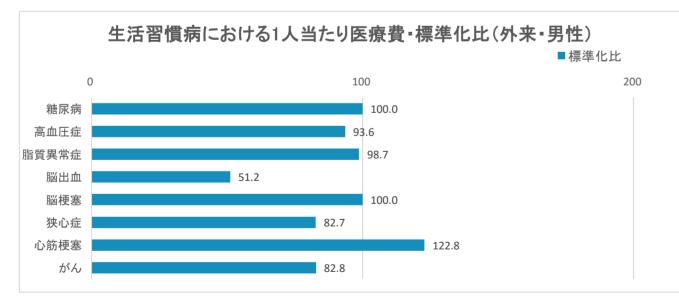


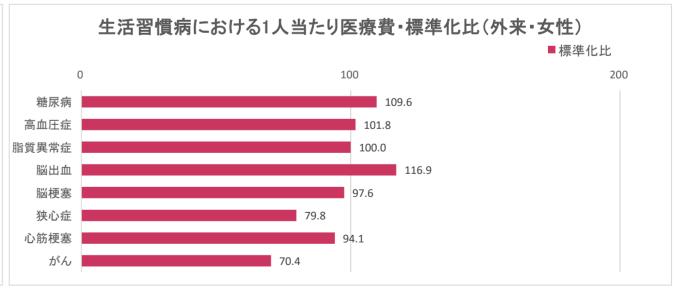
R03年度(累計)【後期高齢者医療】

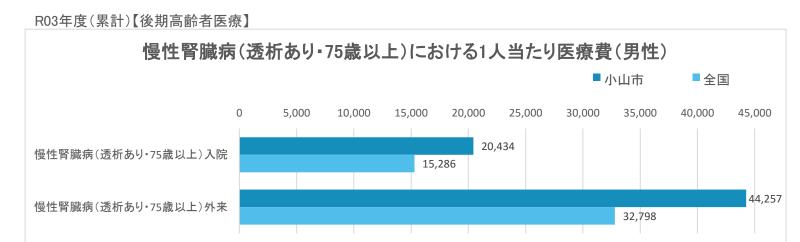


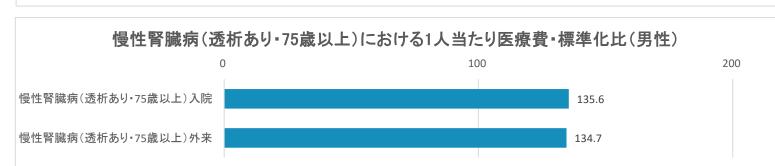
R03年度(累計)【後期高齢者医療】



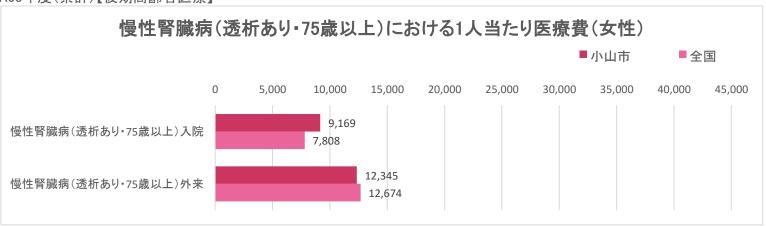


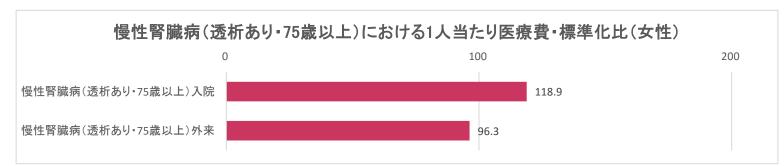




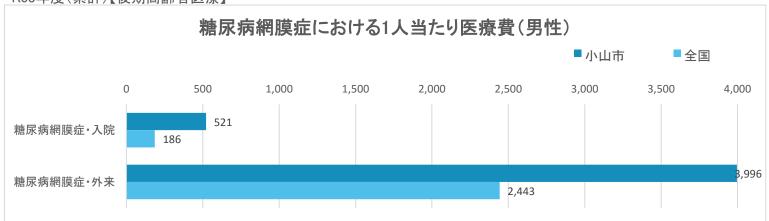


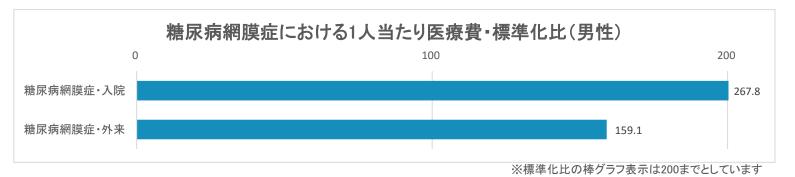




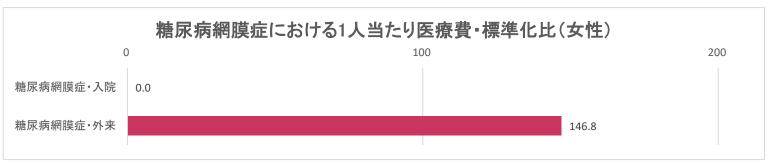


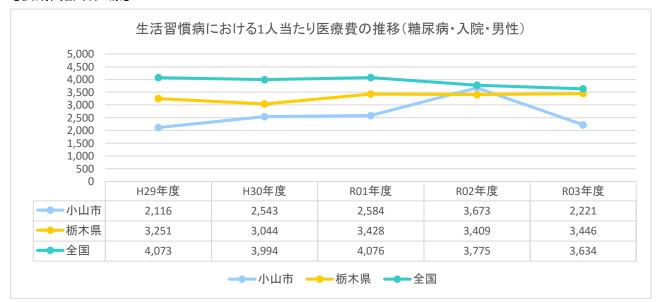


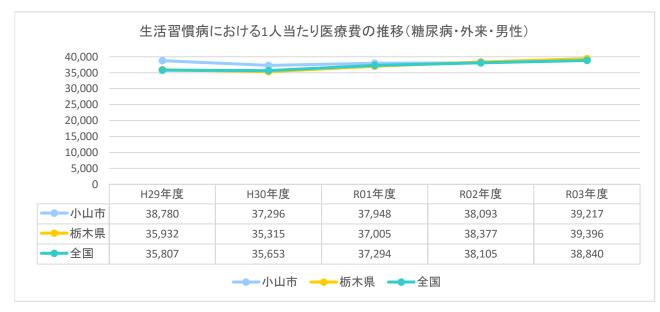


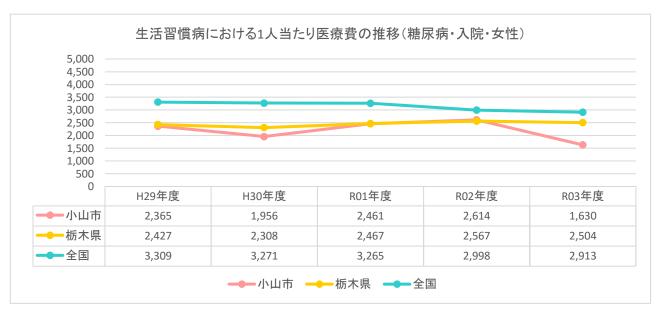


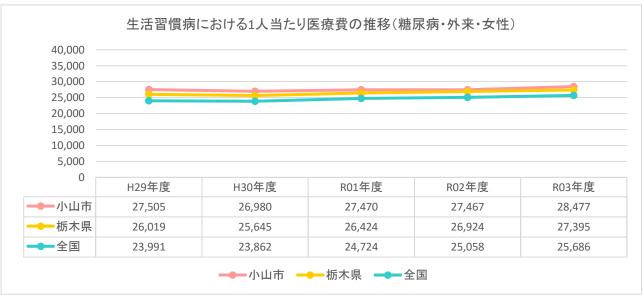


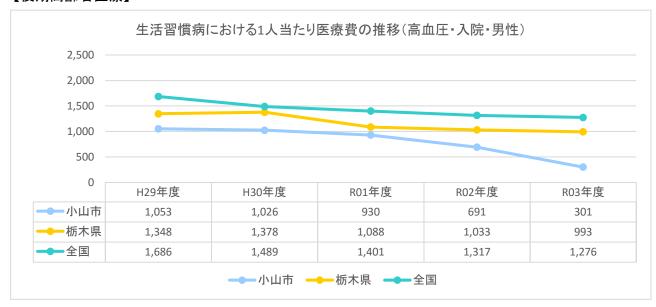


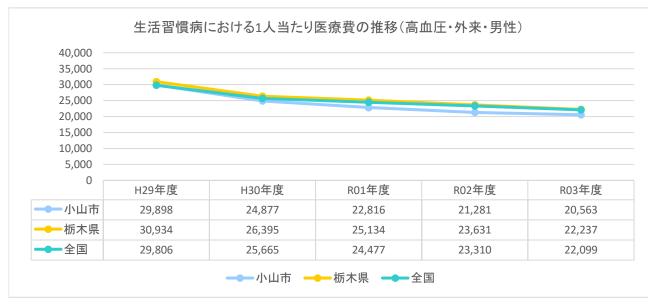


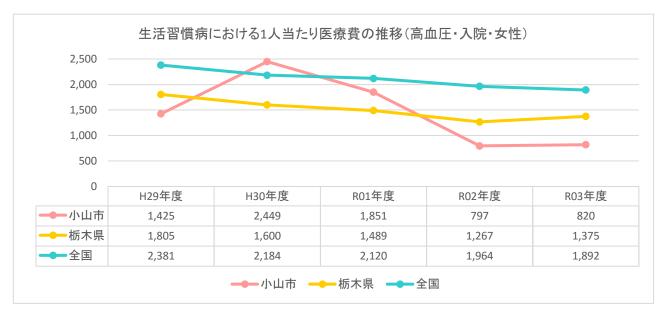


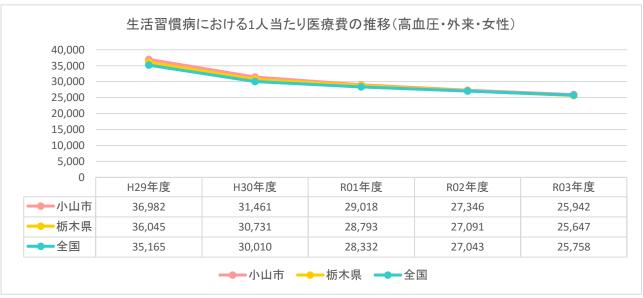


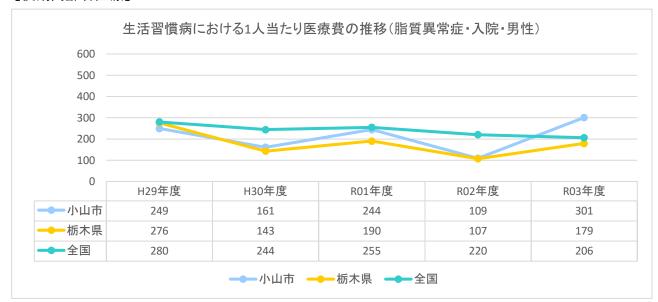


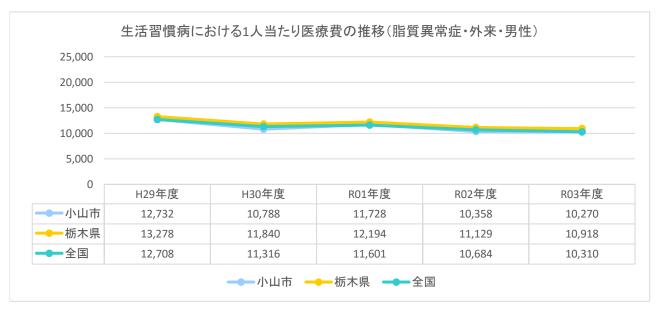


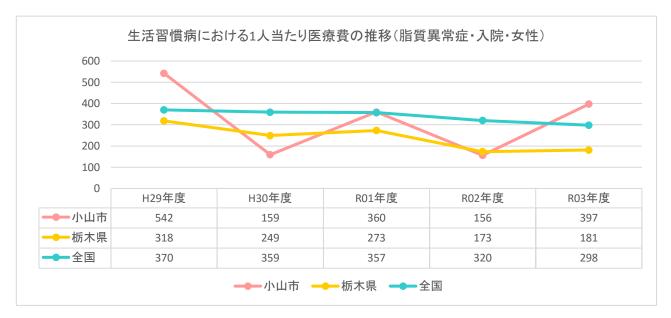


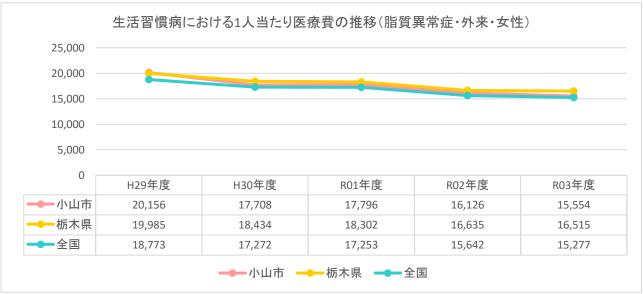


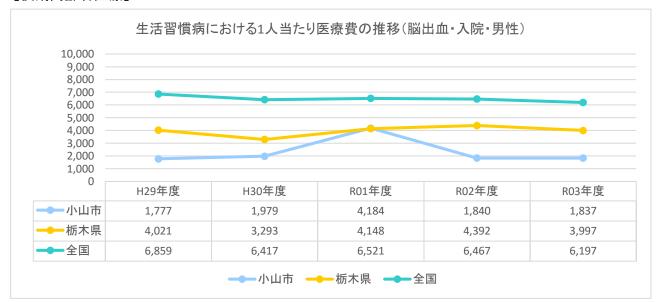


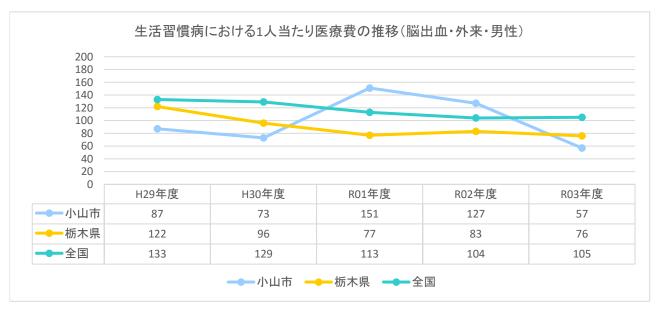


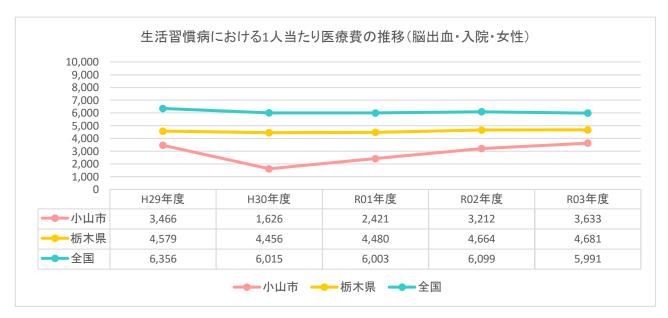


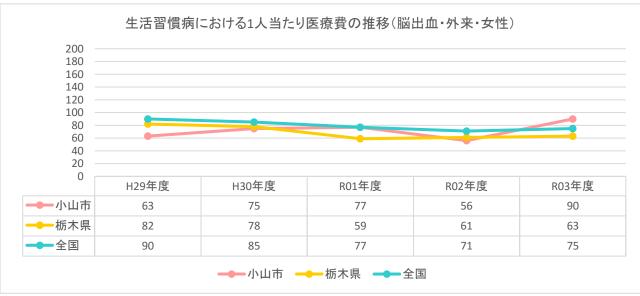


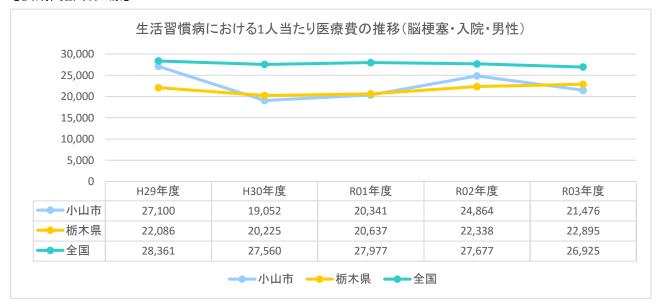


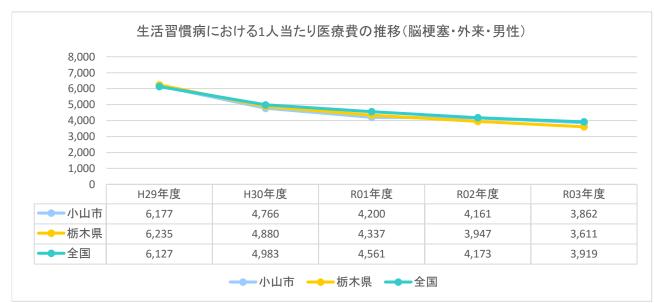


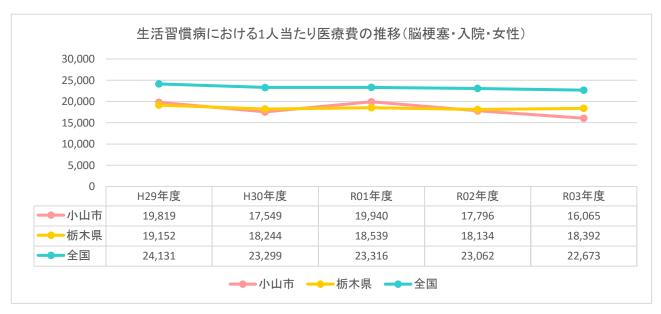


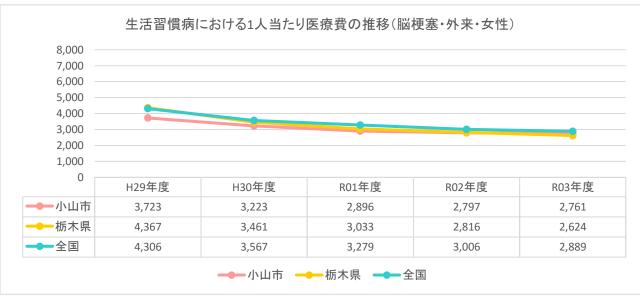


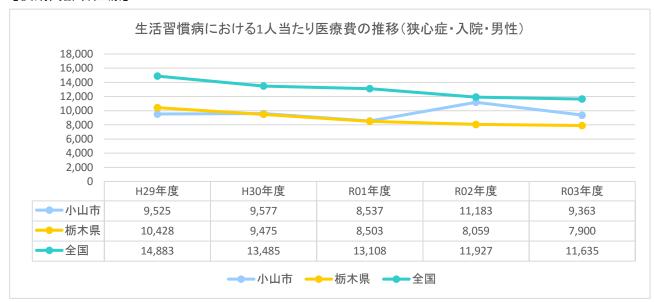


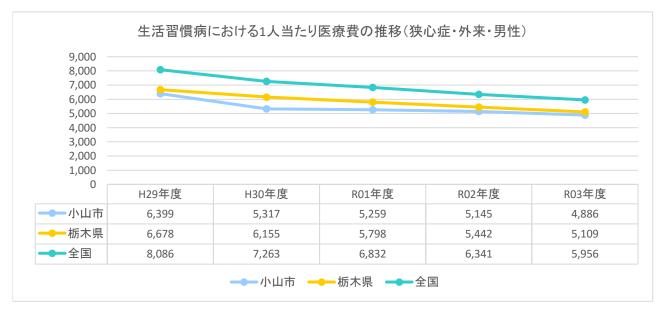


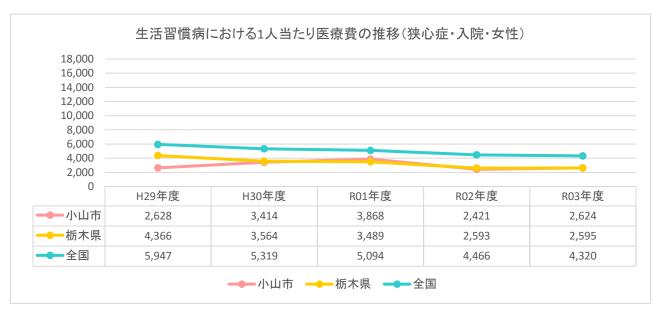


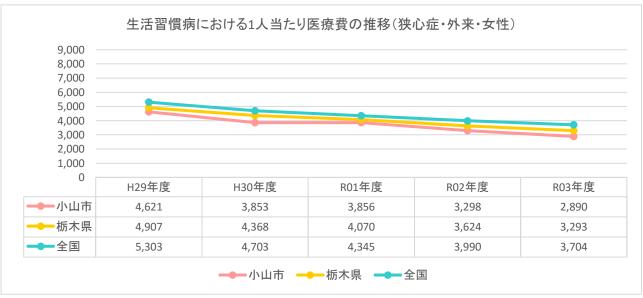


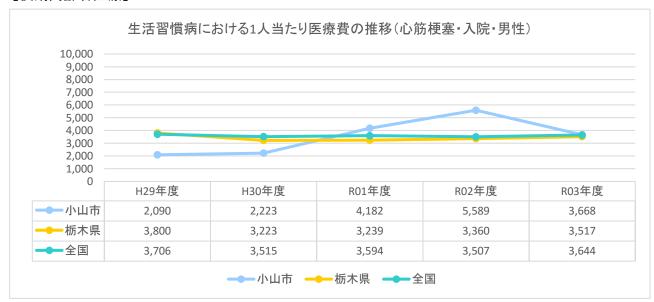


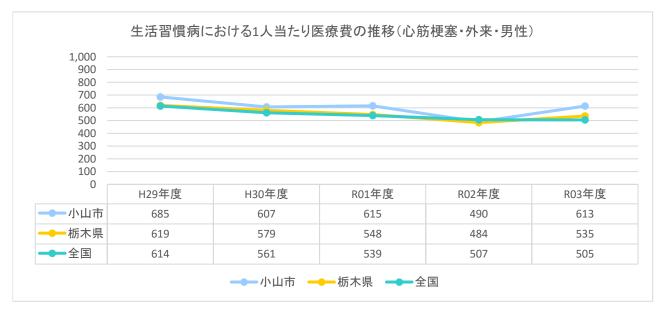


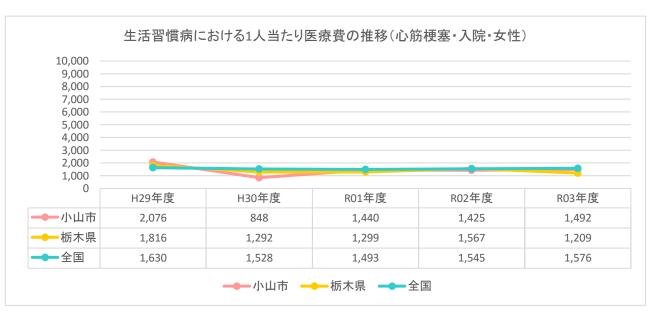


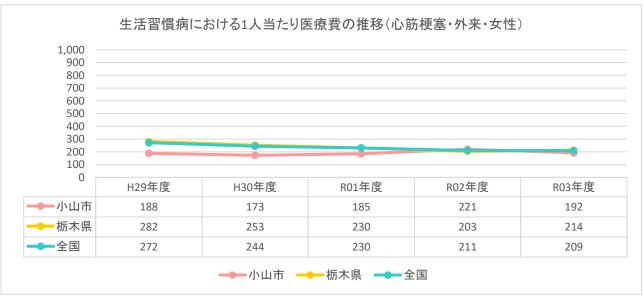


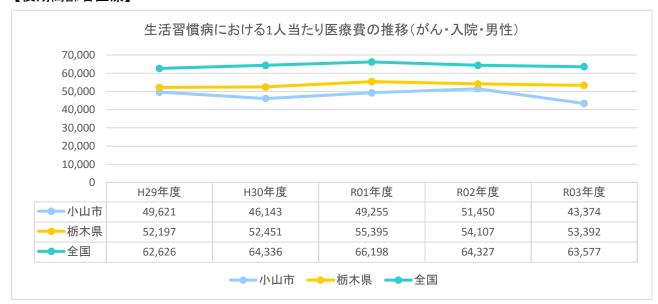


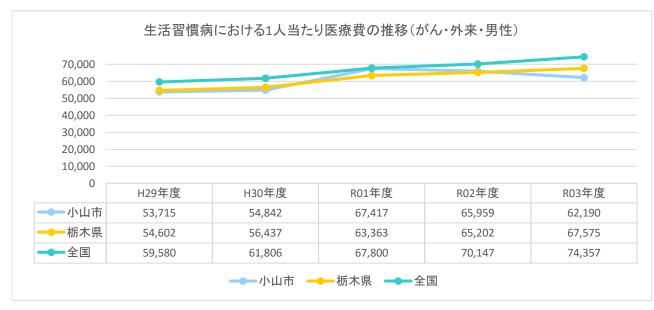


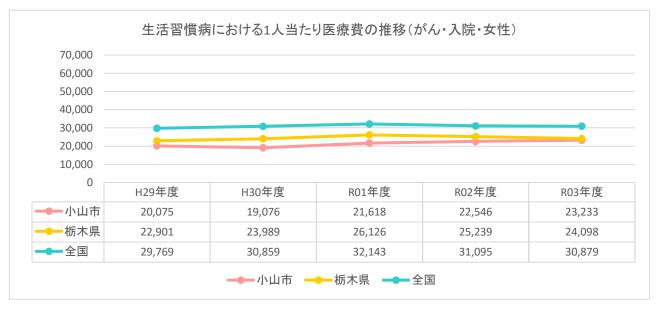


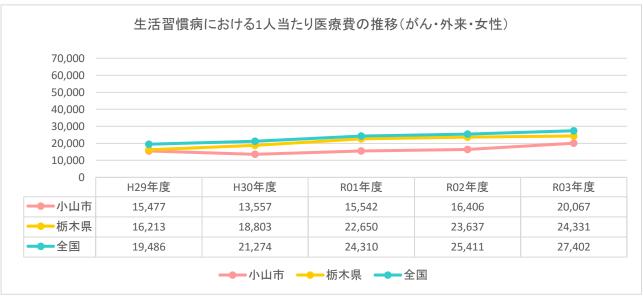


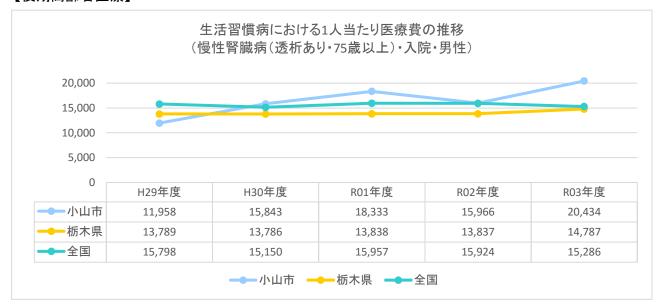


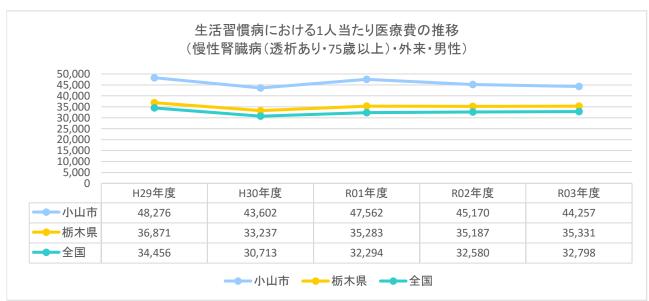


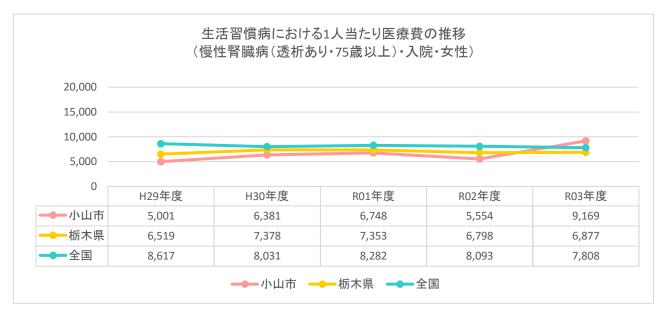


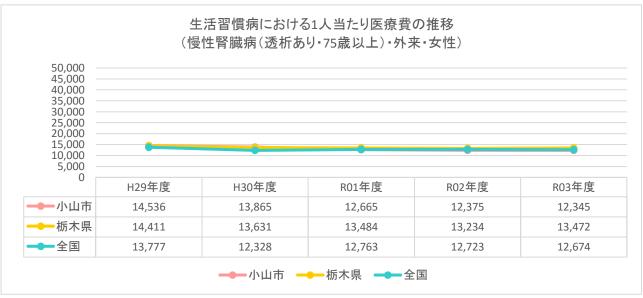


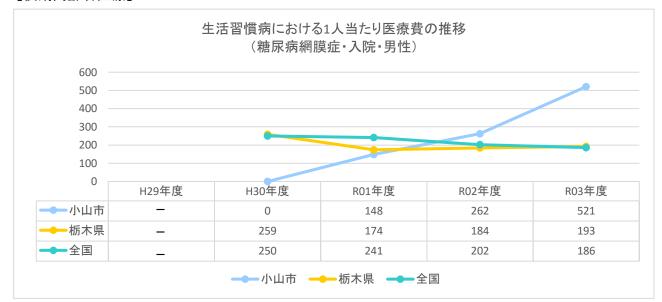


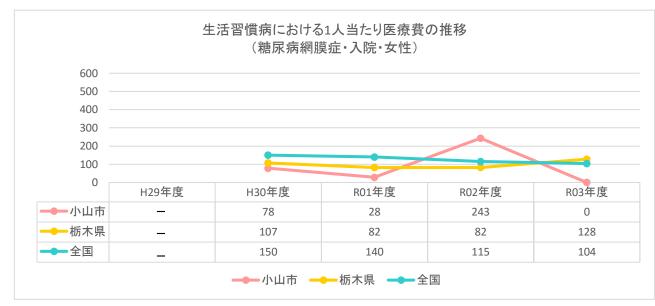


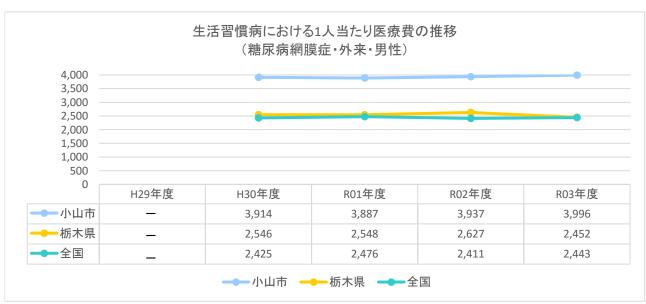


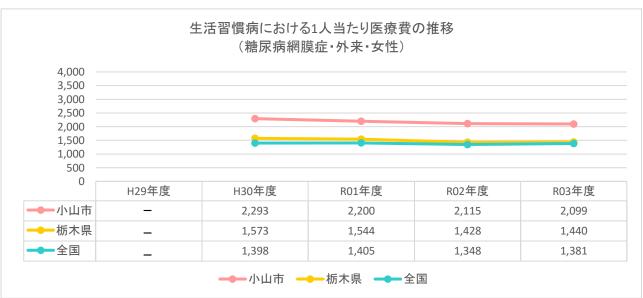












※糖尿病網膜症は平成30年度からKDBシステムで集計可能となったため、平成29年度の値は表示していません。